令和３年度 子育て世代と宮城県議会議員との意見交換会 報告書

１　実施日時

令和３年１０月１４日（木）午前１０時から正午

２　場　所

宮城県議会庁舎（第１委員会室，副議長室，本会議場）

３　参加者

○　一般参加者　７人
○　企画広報委員会委員　８人
（※このほか，正副議長，傍聴議員５人が参加）

４　日　程

（１）　オリエンテーション・・・【　第１委員会室　】9:50～

イ　注意事項等説明
ロ　日程（概要）説明

（２）　開会行事・・・・・・・・・【　第１委員会室　】10:00～

イ　開　会
ロ　企画広報委員長挨拶
ハ　議長挨拶
ニ　出席者紹介

（３）　意見交換・・・・・・・・・【　第１委員会室　】10:10～

イ　参加者の自己紹介（1 分×7 人）
ロ　参加者の意見発表
（1 人 3 分程度　テーマ「宮城県の子育て環境の現状と課題について」）
ハ　意見交換（30 分程度）

（４）　施設見学・・・・・・・・・【　副議長室，議場　】11:30～

イ　副議長室見学・記念撮影
ロ　議場見学・記念撮影

（５）　閉会行事・・・・・・・・・【　第１委員会室　】11:50～

イ　記念品贈呈（副議長）
ロ　副議長挨拶
ハ　記念撮影
ニ　閉会
※　アンケート記入

５　意見交換の概要

第１委員会室において，「宮城県の子育て環境の現状と課題について」をテーマに，参加者７人が１人当たり３分程度の意見発表を行った後，座長（庄田圭佑企画広報委員長）のもと，企画広報委員とともに意見交換を行った。

■　参加者の主な発言内容

○　子どもの遊び場が少ない，県をまたいで遊びに行っているが新型コロナウイルス感染症の影響で難しかった。遊び場難民という言葉がある。大きな公共施設の遊び場ができると良いなと考えている。

○　子育て支援の地域格差を感じる。郡部になると子どもの預け先が少ない。他県からの転入者や御両親が病気の方などへのサポート，産後ケアや児童クラブなどのサポートが少ないと感じる。町のほうで支援が難しければ，ＮＰＯなどの民間団体で，広域的にサポートしていただければと思う。

○　包括支援センターの活用，生涯学習の充実が必要。学力面の格差も感じる。

○　障害や発達の遅れのある子どもへの受け入れる支援や，福祉制度についての情報提供があまりにも少ない。その点について何か支援があれば。手続きも煩雑である。窓口などで十分な説明が必要。

○　子どもの遊び場が減っていっており，運動能力や視力，コミュニケーション能力の低下，自殺の増加など様々な課題が出てきている。遊び場の確保は重要である。

○　学力低下について，学ぶことの大切とおもしろさに触れる機会をもっと増やして欲しい。

○　市町村ごとに異なっている医療費助成の所得制限を撤廃してもらいたい。子どものインフルエンザの予防接種に関しても，補助をお願いしたい。

○　学力向上のためには生活支援も重要である。特にＩＴの分野は重要でそういったところに重点をおいて子育て支援をしてもらいたい。宮城への定着率にも寄与する。

○　行政の言葉は難しい。伝達の方法を考えた情報発信をしてもらいたい。

○　障害を抱えて障害を持つ子どもを育てている状況だが，その状況に合うような支援がないため，金銭面や将来に不安がある。制度の充実が必要である。

６　施設見学の概要

議長室が改装工事中のため，副議長室を見学した後，議場ロビー，本会議場の見学及び記念撮影を行った。本会議場では，議会庁舎や議会の概要について，事務局職員から説明を行った。

■意見交換会

■施設見学

■閉会行事